

奈良市は 「子どもを迎えたい」と思っている
ご夫婦へ、特別養子縁組の選択肢

里親・特別養子縁組の 普及に積極的に 取り組んでいます



千田真司さん

ミュージカル・ダンサー・俳優

瀬奈じゅんさん

元宝塚歌劇団

特別養子縁組を選択し、生後5日のお子さんを迎えられたご夫婦。

このハッピーな制度を、オープンにもっと多くの人に知ってもらいたい

千田真司さん

里親とは、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもを家庭に迎え入れ、

温かい愛情と正しい理解をもって育てる家庭のことをいい、子どもの幸せを目的とした制度です。

特別養子縁組は実親と暮らすことができない子どもに新たな養親子関係を築き、温かい家庭環境の中でその健全な養育を図ることを目的とする養子制度です。縁組が成立すると、産みの親との親子関係がなくなり、法律上も養親とだけ親子関係になります。

／もっと／

里親・特別養子縁組について知りたい方へ

奈良市では、児童相談所を有する「(仮称)奈良市子どもセンター」を建設中です(令和4年完成予定)。今後、里親・特別養子縁組の取組をより推進します。イベントとして、千田真司さん×仲川げん奈良市長オンライン対談トークイベントを開催(終了しました)。



／全編は動画でcheck!／

市民の方からの質問に対する回答や、千田さん＆瀬奈さんからのメッセージも。ぜひご視聴ください！次ページには抜粋した内容を掲載しています。



特別養子縁組が、子どものための制度であることはもちろんですが、この制度で救われたのは私たち夫婦かもしれません。



千田真司さん

千田真司(せんだ・しんじ) 高校卒業後上京。主にミュージカルでダンサー、俳優として活動する傍ら、子どもと関わる事を見据えてチャイルドマインダー(保育者資格)を取得。現在は振付師としても活動しながら、ダンススタジオ FABULOUS BUDDY BEAT を運営している。2017年に特別養子縁組にて子を授かり、2018年2月に公表。これを機に andfamily 株式会社を立ち上げ、代表として特別養子縁組の啓蒙活動にも尽力している。妻・瀬奈じゅんとの共著「ちいさな大きなたからもの」がある。

千田真司さん×仲川げん奈良市長 オンライン対談トークイベント

(令和3年2月16日開催 / 一部抜粋)

— 特別養子縁組を選択したきっかけを教えてください。

千田さん…きっかけは不妊治療です。半年たった頃、治療している妻を見て、自分のできることは何かと考えた時に、自分はチャイルドマインダーという資格を持っていて、ベビーシッターをやっていた経験から、どの子も等しく愛情を感じて共通点があり、もし特別養子縁組を考ええた時に自分ではあるな、と思っただけです。自分は特別養子縁組を考えられなくはない、という考え・スタンスを妻に伝えることで、万が一、不妊治療を諦めなければならぬというときに妻の気持ちに寄り添うことができるのでは、と思い、妻に話してみました。その後、妻の方も自分で色々調べてくれ、私に「特別養子縁組についてもっと知りたい」と言ってくれました。不妊治療は自分で選択する機会がほぼなく、決められたプロセスでどんどん進んでいくのですが、特別養子縁組という選択肢ができて、自分たちでどうするかを選べることが心の健康につながりました。その後治療を続けましたが、気持ちの整理をして、特別養子縁組に進みました。

— 決心から実際にお子さんを迎えるまで、そして迎えたときはいかがでしたか。

千田さん…子どもを迎えるまででいたい(出産した方と同様に)10か月ほどありました。不安より期待があり、実際その連絡がきたときは、急いで妻にも連絡し

て団体にもすぐに子どもを迎えたいと連絡しました。生後5日の息子を私と妻と妻の母と3人で迎えにいきました。それは忘れられない一日となりました。子どもが生まれた時の気持ちは(出産した方と、特別養子縁組とで)何も変わらないんじゃないかって思います。この子でなきゃありえない、この子だったんだなという運命的なものを感じました。

— 制度を知る中でもっとこうだったら良かった、ということはありましたか。

千田さん…病院のお医者さまのほうから、たとえば里親、特別養子縁組の情報提供があり、その知識をもって治療に臨むだけでも違うと思うし、その病院等でメンタルケア、サポートが受けられるような仕組みだったり、行政からの情報提供がもっとあっていい、色んな方が里親や特別養子縁組制度を知っているだけでも、すごく大きいと思います。

— 制度の普及のために必要なこと、行政に期待することはありますか。

千田さん…不妊治療をしても子どもができて、そこではじめて里親や特別養子縁組の話をする事になると思うんですが、その時点でパートナーの同意を得るのとても難しいことだと思います。今回のトークイベントのようにもっと開かれた形でどんどん情報提供ができれば、現時点では踏み込みにくい話題でも、多くの人に周知することで、みんなの意識が変わって、パートナーの理解、親兄弟の理解のハードルが下がるのかな。特別養子縁組というと、少し暗いというイメージがあるのかもしれない。私たちが思うのは、この制度によって私たちはものすごくハッピーになり、息子にとっても感謝し

ているということ。ハッピーな部分があったら、とつと伝わってほしい、そういう開かれたムードを作っていきたいなと思います。ぜひ奈良市がそんな明るいオープンな発信をしてくれたらと思っています。

— 市長、今のお話をどう聞きましたか。

市長…日本の社会全体がパターン化した生き方を前提に議論を進めていく部分があり、たとえば外国から来た子が学校にいたり、LGBTの方など、実はそれぞれ個性特性をもった人たちの集合で社会ができていくのが本来の姿なのですが、家庭とはこういうものであるべきだ、と昔ながらの固定観念で語られてしまいがちな要素があるのかな。これからは、多様な家族の姿を当たり前に受け入れられる世の中にしていく必要があります。これだけ少子化といっていて、里親、特別養子縁組制度のような良い制度があるのにまだまだ活用されないのは大きな社会的損失なのかな。ぜひイメージをアップデートできる仕掛けを考えたい。今後

問合せ >>> 奈良市子ども未来部子育て相談課
〒630-8580 奈良市二条大路南1丁目1番1号
☎ 0742-34-4804
Eメール: kosodatesoudan@city.nara.lg.jp

全編は動画でcheck!



市民の方からの質問に対する回答や、千田さん&瀬奈さんからのメッセージも。<こちらからぜひ視聴ください!



瀬奈じゅん(せな・じゅん) 3歳からクラシックバレエを始め、高校1年の時宝塚歌劇団への入団を決意。1992年『この恋は雲の涯まで』で初舞台をふむ。2005年『JAZZYな妖精たち/REVUE OF DREAMS』で月組トップスターとなる。宝塚版『エリザベート』で、ルキーニ、エリザベート、トート、と他では考えられない3役を制覇するなど、様々な色を持つトップスターとして絶大な人気を集める。2009年12月、『ラストプレイ/Heat on Beat!』で宝塚歌劇団を退団。2010年、女優として臨んだ『エリザベート』そして『アンナ・カレーニナ』で、瀬奈じゅんならではのタイトルロールを魅せる一方、コンサート『ALive』(10年)、『ALive 2』(11年)ではエンターティナーとしてのきらめきを存分に発揮。2012年には菊田一夫演劇賞、岩谷時子賞奨励賞をW受賞。

仲川げん奈良市長

多様な家族の姿を、当たり前前。